

平成19年6月4日

1・2号機主排気筒モニタ室（非放射線管理区域）における発煙および主排気筒モニタの一時的な欠測について

平成19年6月3日午前7時58分、定期検査中の1号機中央操作室にて「1・2号機主排気筒モニタ*¹」に関する警報が発生しました。

運転員が現場を確認したところ、当該モニタの取替工事にともない使用していた仮設サンプリングポンプ*²に電源を供給している電源ケーブルと電工ドラムとのつなぎ部から煙が発生していることを確認したことから、電工ドラムのケーブルをコンセントより取り外しました。

速やかに消防署に連絡を行い、消防署員による現場確認の結果、「火災ではない」と判断されました。

発煙の原因については、今後調査いたします。

なお、同日午前8時32分、予備の仮設サンプリングポンプに切り替えましたが、本事象の発生にともないサンプリングポンプが停止していた間、当該モニタの指示値が欠測しておりましたが、他の放射線モニタ等の指示値に異常がないことから、放射性物質の放出はなかったものと評価しております。

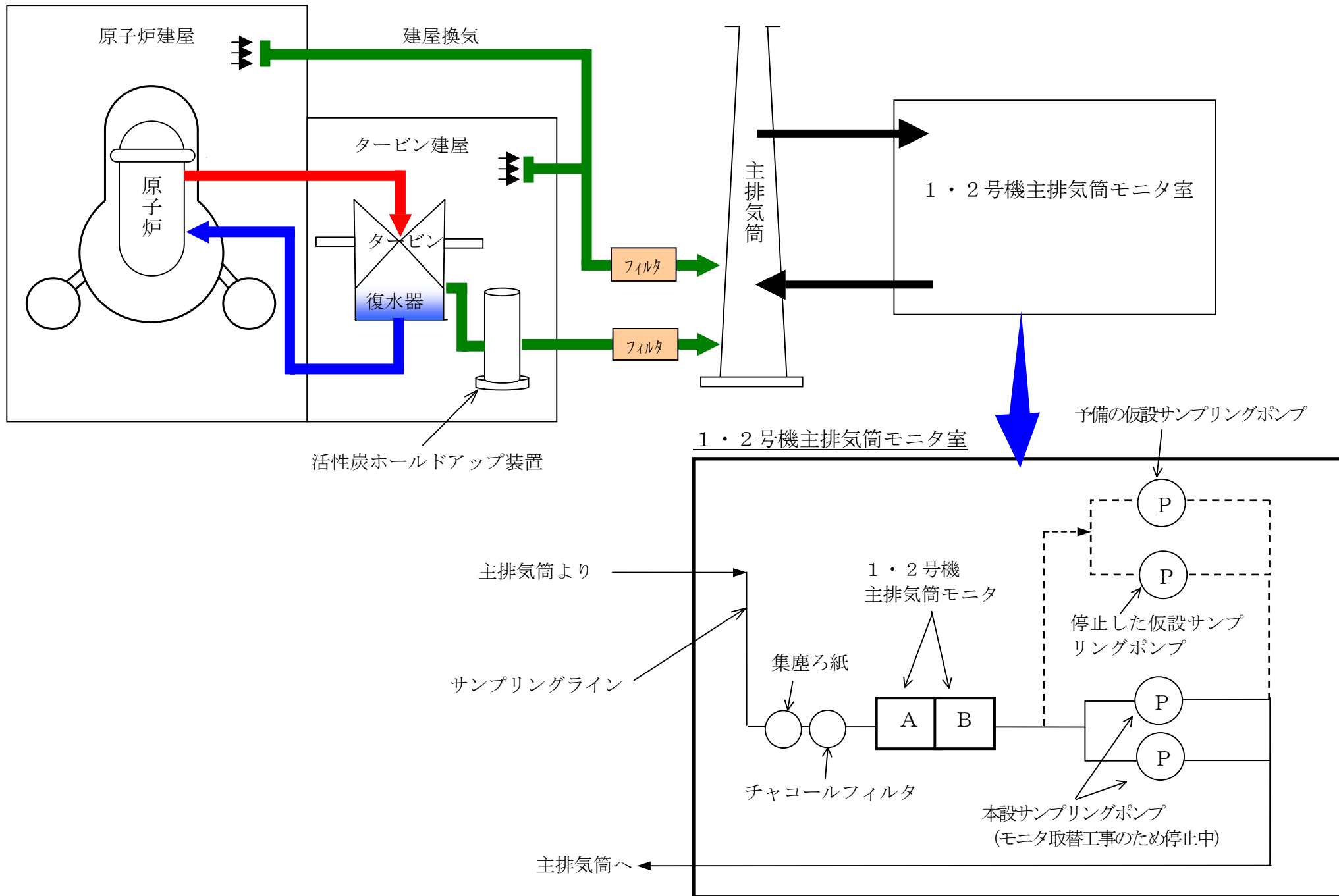
以 上

* 1 1・2号機主排気筒モニタ

1・2号機の建物内の空気や復水器を真空にしておくための排ガスが、環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置。

* 2 サンプリングポンプ

1・2号機主排気筒から放出される排気を捕集するポンプ。



主排気筒モニタの概要